大阪 歯科 保険医新聞

8/15
2019年第1338号
（毎月5、15、25日発行）

大阪府歯科保険医協会
発行人　和田　武
大阪市浪速区幸町1-2-33
電話(06)6568-7731(代表)
http://osk-net.org/
●定価・年間10,000円　月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可

夏季特集号

よみがえる百舌鳥・古市古墳群

1600年の時を超え世界遺産に

上空から眺めた大山古墳（堺市提供）

1600年の時を超え、世界文化遺産に登録されることが決まった「百舌鳥・古市古墳群」。大阪初の世界遺産は大小さまざまな古墳が点在する貴重な古墳群だ。日本最大の大山古墳（仁徳陵）の前に立てば、圧倒的な墳墓の迫力に息をのむ。

今でこそ歴史的・文化的価値が認識され、世界遺産登録に沸いているが、戦中・戦後を経て百舌鳥・古市の古墳群はその数を大きく減らした。軍事優先、経済開発優先の歴史が大きな爪あとを残している。

堺市の歯科医師で古墳研究者の宮川徙（みやかわ・すすむ）氏は、古墳が破壊される様子を目の当たりにし、長年にわたって保存運動に奔走してきた。宮川氏の案内で百舌鳥古墳群を歩き、世界遺産登録の光と影を見つめた。

（新聞部／矢部あづさ・谷聰）

おことわり　連載「個別指導の実相」の第２回は２面に掲載しています。

訂正　本紙７月15日付同封の『第55回通常評議員会・第54回定期総会決定』の33㌻にある「2019・2020年度理事・監事」の任期を「2019年６月～2020年５月」から「2019年６月～2021年５月」に訂正します。理事・監事の任期は規約に基づき２年間となります。

お知らせ

本紙８月15日付は同５日付と合併して発行しました。

協会は10～18日まで夏季休務となります。

歯界

長寿を祝う風習は古く、一説には奈良時代からあったという。当時は短命で40歳から10年ごとに「年祝い」をしたそうだ。今では60歳の還暦に始まり、古希（70歳）、喜寿（77歳）、傘寿（80歳）、米寿（88歳）と続く。

還暦なら赤いもの、米寿は金、百寿（100歳）は白を「もも」と読めることから桃色で祝う。100歳以上の人口は2020年に10万人を超え、30年には20万人になるとのこと。珍しい存在ではなくなりつつある。

門松は冥土の旅の一里塚、めでたくもありめでたくもなし（一休）

元旦を死期に一歩近づいたことと捉えて詠んだ狂歌だ。長寿を喜べない様は現代にも通じるのではないか。

「100年安心の年金」は100歳まで安心ではなく、制度を100年維持することらしい。受給額が毎年減る年金制度こそ「冥土の旅の一里塚」と言うべきだろう。

〝幸せ色〟の老後が遠のくばかりだ。（Y）